



報道関係者各位

50年の歴史に幕を下ろす 府内最古の投影機 天文観覧室プラネタリウムで最終投影と引退セレモニーを実施

昭和48年(1973年)に開館した茨木市立天文観覧室プラネタリウム(茨木市東中条町2-13 合同庁舎7階)は、8月20日をもって閉館し、11月26日にオープンする茨木市文化・子育て複合施設おにクル(茨木市駅前三丁目9番45号)へと移転となります。

最終日の令和5年8月20日に、開館以来50年の歴史を振り返る最終投影とプラネタリウム投影機MS-8[※]の引退セレモニー(消灯式)を実施いたします。

※この投影機は、現在大阪府内で使われている投影機の中で最も古いもので、日本国内でもこれより古い投影機は数台しかありません。おにクルへの移転後は展示保存される予定です。

■最終投影とMS-8引退セレモニー

◎最終投影

とき：8月20日(日)、午後3時30分から(約50分)

定員：57名(当日先着順)

料金：大人100円、4歳～中学生50円

◎MS-8引退セレモニー

とき：8月20日(日)、午後4時30分から(約30分)

定員：57名(当日先着順)

料金：無料



引退するMS-8

■8月実施の特別プログラム

別紙資料のとおり、50周年を記念した特別プログラムも実施いたします。

詳細は [市立プラネタリウムホームページ](#) を
ご参照ください(右に二次元コード)。



【本件に関する問合せ先】

市民文化部文化振興課長
市立天文観覧室プラネタリウム

電話：072-620-1810
電話：072-622-6229